



藤田 まこと

No. 14

議会だより

三月定例会

発行者 藤田 まこと
 事務所 青森市中央1丁目22-5
 青森市議会
 社民党・市民の会控室
 TEL:017-734-5692
 FAX:017-722-8902
 印刷所 スタジオとまと
 TEL/FAX:017-761-2770

平成26年度 一般会計当初予算成立

当初予算額 1千2百7拾5億4千8百万円

・財政調整のための基金残高は、2年ぶりに増加

平成26年度当初	平成25年度本格	比 較
4,172百万円	3,703百万円	469百万円

・市債残高は、平成21年以降、5年連続で減少

平成26年度当初	平成25年度本格	比 較
167,217百万円	170,055百万円	△2,838百万円



平成26年度 予算編成の基本的な考え方

行政評価から予算編成までを一体的に実施する行政運営の仕組みを取り入れた編成作業を行うとともに、財政プランに掲げる目標達成に向けた取組みとして、シーリングの実施、財政調整のための基金取崩しの抑制、新規市債発行額の抑制を基本方針とした予算編成となっています。

整備最終年度となる新ごみ処理施設整備事業や小柳第一団地建替事業の本格化、次期情報システム開発費等の影響で、新市移行後最大規模となった前年度に次ぐ予算規模になりました。

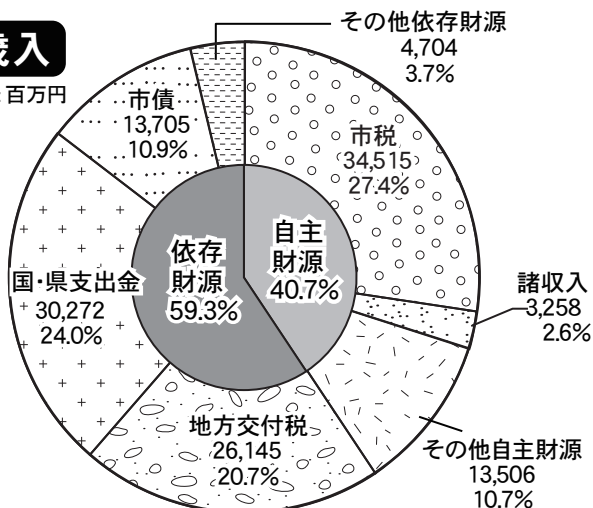
〈主な取組み〉

- 市民とともにつくる市民のための市政
 - 三浦雄一郎チャレンジ賞表彰事業
 - まちづくり協議会への新たな支援
- 市民の命と生活を守る取組み
 - 小・中学校非構造部材耐震化事業

- 地域防災計画の修正
- 健康づくり、子ども・子育て支援及び高齢者福祉の充実
 - (仮称) 青森市健康増進計画の策定
 - みなし寡婦(寡夫)控除の適用
- 人口減少対策事業の実施
- 北海道新幹線開業を見据え、交流人口の拡大に向けた取組み
- 成長戦略の推進
 - 観光資源及び誘客活動の充実
 - 新エネルギー・省エネルギー対策の推進
- 歴史・文化の活用・継承
- 大学連携の強化
- まちづくりの推進と雪対策
 - 八甲田丸船体の改修工事
 - 雪対策の推進
- 浪岡地区の地域振興

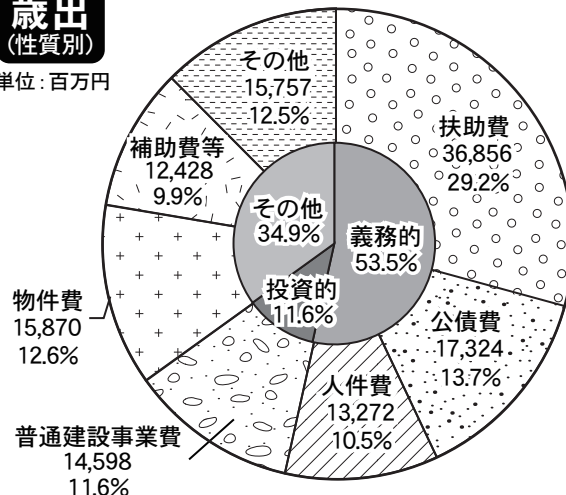
歳入

単位: 百万円



歳出 (性質別)

単位: 百万円



一般質問

項目

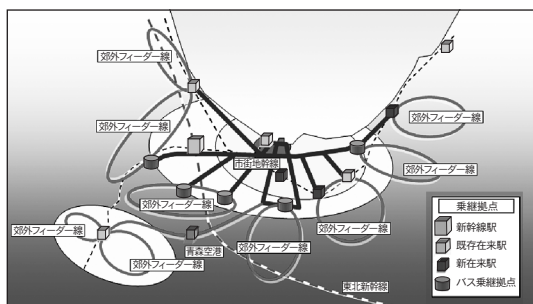
- ① バス交通戦略について
- ② 集団食中毒の対策について
- ③ 機構改革について
- ④ 雪対策について



① バス交通戦略について

バス交通に関する戦略が計画通りに進んでいないことから質問しました。

答弁 わかりやすく、利用しやすいバス交通体系とするためバス交通に関する戦略を策定したが、採算性の低い路線を民間



バス事業者への運行委託を実施する際、住民懇話会を経て社会実験に入ったが、骨格・幹線・支線の効率的なバス路線運営に支障をきたしていることから、立ち止まって計画の見直しを行う。

② 集団食中毒の対策について

浜松市の集団食中毒を受けて、青森市の学校給食におけるノロウイルス等による食中毒に対する衛生管理対策について質問しました。

答弁 「学校給食衛生管理基準」「大量調理施設衛生管理マニュアル」など

に基づく衛生管理を行っていて、毎日、調理作業前に学校給食従事者やその家族に腹痛、嘔吐、発熱等の症状がないか点検を行っている。また、ノロウイルス等が疑われる場合は速やかに医療機関を受診させ確認している。

管理意識の向上については、保健所等から講師を招き研修を実施し、学校現場においては日頃から児童生徒に手洗いを励行し、他自治体等で食中毒等の事案が発生した時は、その事案を参考に対策を協議している。

③ 機構改革について

平成26年度の機構改革の理由と主な内容について質問。特に新設される市民政策部について聞きました。

答弁 「市民の声を反映した新しい施策を迅速かつ効果的に実現する機動的な組織」として設置した市長公室と「総合的な政策の企画・調整」を所管する「企画財政部」の政策立案・調整機能を再編し、機能強化及び効率的な行政運営の体制づくりのため。

④ 雪対策について

2月15日未明から16日にかけて、大変な豪雪でしたので、夜間の急激な天候による降雪への対応について聞きました。

答弁 幹線・補助幹線については、天気予報をもとに可能な限り除雪実施を指示しているが、工区（生活路線）については大半が排雪を伴うことから、トラックの手配が出来ない事もあり急激な天候変化には対応が困難な状況にある。

予算特別委員会の質問

青森市原子力災害対策計画について

福島原発の事故を受けて、青森市として、万が一の事態を想定し安定ヨウ素剤を備蓄する事となったため、その予防服用について、どのように市民周知をするのか聞きました。

答弁 安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素が体内に取り込まれてから服用しても効果が極めて低く、被爆直後か24時間前が効果的であることから適切な時期に速やかに服用させる必要がある。また、ヨウ素剤は甲状腺被ばくの防護対策に限定されることから、今後市民に対して放射性物質防護の手法や安定ヨウ素剤の副作用対策等正しい知識の普及・啓発に努めていく。

新エネ・省エネ対策について

補助金が引き下げられていることから、住宅の太陽光発電を普及させるために、補助金を引き上げるべきとの考えから聞きました。

答弁 太陽電池パネルの価格の下落など設置費用が安価となってきたため、補助金を引き下げた。

補助対象は住宅用太陽光発電システム、バイオマス燃料使用のペレットストーブ、ガスエンジン給湯器、燃料電池コージェネレーションシステムといった新・省エネルギー機器も対象となっている。

補助金	出力1kw	出力4kw
平成24年度	3万5千円	14万円上限
平成25年度	2万5千円	10万円上限

平成26年度は予算枠を拡大するとともに、ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）を新たに加え、今後も新・省エネルギー機器の導入拡大に向けて効果的な方策を実施していく。

再質問

① 一般的な家族構成で（4kwの設備）、売電収入はいくらで、採算が取れるには、何年必要か。

答弁 実際設置している方の例を参考にすると、概ね13年程度で採算が取れる計算でした。

青森市文化スポーツ振興公社での解雇問題について

答弁 解雇者4名の内、2名から解雇不当との労働審判申し立てがなされ、2名との和解が成立しているが、和解内容については両者間で公表しない取り決めになっている。

市職員の健康管理体制について

今年度、市職員が4名亡くなっていることから、市民のために働く職員が健康でなくては市民の健康は守れないとの観点から、職員の健康管理対策を聞きました。

答弁 定期健康診断結果やメンタルヘルス対策などは継続していくが、これまで努力義務としてきた保健指導を行うため、保健師1名を配置する事とした。

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党・市民の会控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902